



部落差別解消法の名で、国民の言論表現規制をはかり、同和利権拡大をねらう勢力の策動を断固打ち破ろう

「『部落差別』固定化法」は廃案に

法案の問題点を指摘する
丹波正史議長 5月24日



私は、この法律の2つの異常さと3つの問題点を指摘したい。

部落問題解決の流れを無視

異常さの1つは、安倍内閣のもとで、いまだで積み上げられてきた政策

丹波正史議長のあいさつ

2つの異常と3つの問題点

的な流れを無視しているという点です。

国地方の同和対策事業で16兆円超が費やされ、格差是正、差別の解消など、社会問題としての部落問題の解決はほぼ達成しました。自民党も同和対策事業そのものも最終的に、同和から人権への流れをつくったわけであり

今回の提案というのは、自民党が戦後つくりあげてきた同和問題での流れを全く無視している

民主主義を蹂躪

2つに、会期末に突如として出すという民主主義を踏みこむ行為という点です。

同和対策事業の法律をつくる過程で、何度も関係団体の意見聴取を行い、各界から意見をもらった上で、法案が提出されてきた経緯があります。今回は突然降ってきた話でありますから、民

事業復活の目論み

問題の1点目に、法律

部落差別の固定化

2点目に、時限法でなく恒久法だという点。部落問題というのは、中世の社会の中で慣習として生まれた身分差別の残りかす、悪習であります。慣習の問題ですから、法律で無くすることは考えられないわけです。市民社会の中での合意結成をはかることで差別を克服

問題解決への逆流

3点目に、地方自治体の同和行政終結への流れを法的にストップさせるという逆流現象を起こさせるということでありま

法案の強行採決に反対する緊急決起集会。国会情勢を報告する清水忠史議員＝5月24日、衆院第1議員会館



強行採決断念に追い込む

自民・公明・民進の3会派は、国会会期末に突如、「部落差別」固定化法案（「部落差別の解消の推進に関する法律案」）を提出。今国会での成立をめざし、5月24日昼の衆院法務委員会理事会で25日に採決することを決めました。しかし、急速な反対行動も反映して、参議院に送付しても廃案になる可能性が出てきたため、翌25日の理事会で一転、次期国会への継続審議となりました。

全国人権連および各都府県連は、声明の発表や署名など法案反対の運動を展開。24日午前には衆参法務委員と委員各氏に反対要請を行い、午後から緊急決起集会を衆院第1議員会館で開催。清水忠史衆院議員、畑野君枝衆議院議員（ともに共産）が激励に訪れました。

緊急決起集会で清水議員は、理事会で25日に採決強行の日程が決められたことを報告。また、自民党のある理事が人権連の要請文を手に取り「至極もっともだ。説得力がある」と発言したことを紹介。「最後まで廃案めざしてがんばりましょう」と連帯のあいさつをしました。

丹波正史議長は、「これまで培ってきた部落問題解決の流れを全く無視するもので、会期末に突如として提出し国民的議



委員会傍聴し
清水議員と懇談

「部落差別解消法案」が5月25日、衆院法務委員会に審議入り。清水忠史議員は「歴史的経緯や関係者の努力を乱暴に踏みしめ、同和問題解決に逆流するもので、絶対に認められない」と強く廃案を求めました。

全国人権連の代表らは、委員会の傍聴後に清水議員と懇談し、提案者が「確認・糾弾を容認するものではない」との答弁の真意や「部落」に特化した法案の矛盾などを確認。廃案めざして世論形成に奮闘することを確認しました。

九州震災救援募金振込先
口座名義
全国地域人権運動総連合
◇みずほ銀行 稲荷町支店
普通 1711925
◇郵便振替払込口座
00190-7-371125